

# 部活動などの表彰

## 《英語科》

第41回 荒川区中学校連合英語発表会 **第二位**

〇〇〇〇さん(3-3)

第41回 荒川区中学校連合英語発表会 **参加賞**

〇〇〇〇〇〇〇〇さん(2-4)

## 《実用数学技能検定》

**準2級** 〇〇〇〇さん(3-2)

**3級** 〇〇〇〇さん(3-1)、〇〇〇〇さん(3-2)、  
〇〇〇〇さん(3-2)、〇〇〇〇さん(3-3)、  
〇〇〇〇さん(3-3)、〇〇〇〇さん(3-3)、  
〇〇〇〇さん(3-3)、〇〇〇〇さん(3-3)、  
〇〇〇〇さん(3-4)、〇〇〇〇さん(2-1)、〇〇〇〇さん(2-1)

**4級** 〇〇〇〇さん(2-1)、〇〇〇〇さん(2-4)

**5級** 〇〇〇〇さん(1-5)

**6級** 〇〇〇〇さん(1-1)

## 《パソコン部》

第22回毎日パソコン入力コンクール秋季大会

**第5部和文A中学生部門入賞**

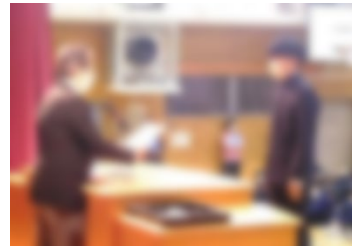
3年生

(1組)〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん

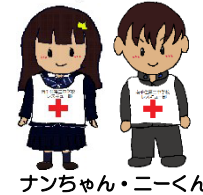
(2組)〇〇〇〇さん

(3組)〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん

(4組)〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さん

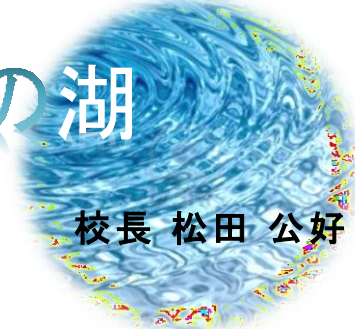


学校だより  
令和四年11月  
第131号  
荒川区立南千住第二中学校



ナンちゃん・ニーくん

## こころの湖



校長 松田 公好

11月21日の全校集会では生活指導主任が全校生徒に向けて何点か話をしました。そして話の最後には「朝読書や黙想で気持ちを落ち着かせよう」と呼びかけていました。一日の中に心を静めて気持ちを落ち着かせる時間をもつことは、確かに大切なことだと思います。

『澄心静慮（ちょうしんせいりょ）』

書の題材としてよく使われる言葉で書道家の方の作品や時として中学生の書初めでも見かけることがあります。意味は「心を澄ませ、物事を深く静かに考えること」です。

これを湖に例えて…

**心がざわついていると**、心の湖は濁って視界が狭くなってしまい、自分のモノサシで決めつけたり、偏った判断をして悩んだり、小さなことに心が囚われてりしてしまう。

**心を落ち着かせれば**、心の湖に広がっていた濁りが水底に沈んで澄み切った状態になる。水面にはさざ波も立たず、水底もハッキリ見えてくる。

**そんな澄みきった心で静かにじっくり深く考えると**、今まで見えなかったものが見えてくる。こんなふうに言い表すことができます。

濁りが水底に沈むまで、**心を澄まして静かに落ち着いた気持ちで考えることにより、あるがままに物事を正しく受け入れることができる**ということです。

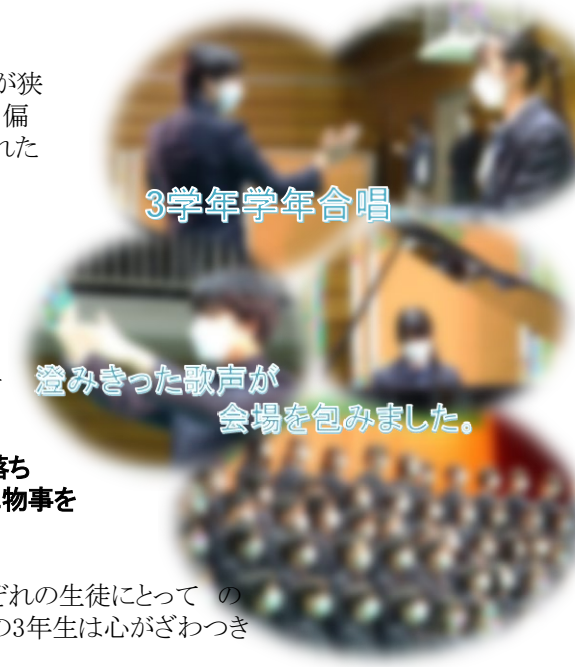
いよいよ3年生にとっては進路決定というそれぞれの生徒にとっての一大イベントが始まります。そして特にこの時期の3年生は心がざわつきがちになります。

心がざわついて水が濁り、視界が悪く(狭く)なると結果ばかりに囚われてしまい、前向きな気持ちになれなくなったりします。

**視野を広げて様々なことに気付けるようになるために、ときどき心の湖を澄みきった状態にすることをお勧めします。**

**3年生全員が希望の進路を実現できるよう全校で応援しています。**

心を澄まして、頑張れ3年生!



3学年学年合唱

澄みきった歌声が会場を包みました。

## 南千住マイスターのコーナー

それから幾度となくそば屋に来てはたつぷりの千住葱と唐辛子をかけて食べます。この女はすぐ噂になり蕎麦屋は物見高き客たちでいっぱいになりました。客の一人が「何処の女かつきとめろよ」と店主に言いました。店主がその女のあとをつけていくと、女は金蔵寺の閻魔堂の前で立ち止まりました。と、そのとき、横顔がチラリと見えました。何とその口は目元まで裂け、顔は唐辛子より真っ赤だったのです。「エ、エンマ様だ！おれを迎えに来たんだ！」店主は店に帰って、泣きながら寝込んでしまいました。そこへさっきの客がやって来て「お迎えを断るにや、蕎麦をお供えするかねえぞ」といわれ「なるほど」と思った店主は、翌日から閻魔堂に蕎麦をお供えするようになりました。すると閻魔様も安堵したのか店に来なくなったといひます。そんな話が宿場町の遊女たちに伝わり、いつのまにか彼金蔵寺は今も千住大橋を渡った北千住側にあります。

千住宿には寺社の他にも、本陣・脇陣・旅籠・絵馬屋・蕎麦屋などが軒を連ねていました。風のある午後、街道沿いにある蕎麦屋のつゆの香が金蔵寺までとどいてきたといひます。このお寺に祀られているのは閻魔様です。閻魔様は「一度でいいからあの旨そうな汁の蕎麦を食べてみたい」と思うようになりました。我慢できなくなった閻魔様は、とうとう若い女に化けて蕎麦屋へ出かけたのです。



すみだ川妖怪絵巻 その7  
『そば閻魔(えんま)』

協力：  
NPO法人  
千住すみだ川

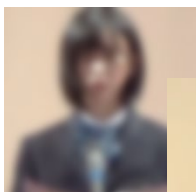
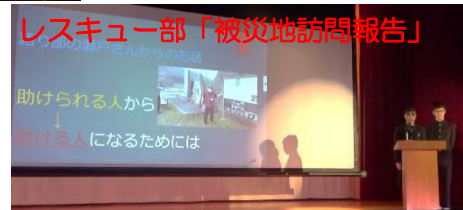
# 霜月祭1日目 展示・活動発表

10月29日(土)～30日(日)の2日間にわたり、霜月祭が開催されました。1日目は、霜月祭実行委員会と生徒会本部役員による各クラスをGooglemeetでつないだ実況中継からスタート。およそ2週間の練習・準備に取り組み、待ちに待った霜月祭の開催にどのクラスも笑顔と歓声にあふれました。今年のスローガンは、「そこに愛はあるのか?～まだ見ぬ霜月祭に恋をした～」。実行委員長の〇〇〇〇さん(3-1)の「愛のこもった楽しい霜月祭にしましょう」のあいさつにつづき、アリーナに大きなスローガンが掲げられると、実況を見ていた全クラスから大きな拍手が送られました。34期生徒会会長の〇〇〇〇さん(3-1)からは、「3年生にとっても34期生徒会にとっても最後となる霜月祭。思いっきり楽しんでください」という言葉が送られ、つづいて2年生の〇〇〇〇さん(4組)と〇〇〇〇さん(3組)の2人が制作したオープニングビデオが流れました。〇〇さんが、今回のビデオで作詞・作曲を手掛け、〇〇さんがボーカロイドの歌を作りました。紙飛行機がそれぞれの夢を乗せ、未来へと旅立つようすが紹介されると、大きな歓声各教室から上がりました。

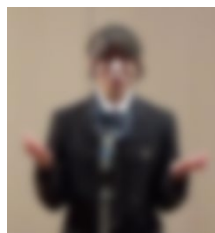
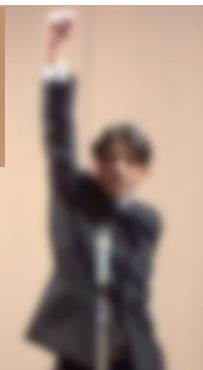
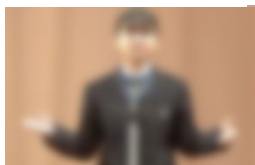
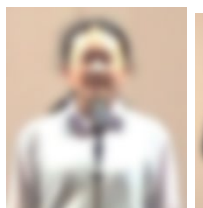
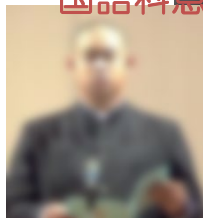
オープニングにつづいて、「国語科意見発表」「英語科スピーチ」「レスキュー部活動報告」「朗読部」の発表がビデオで行われました。ビデオ鑑賞の間には、各学年が同じ時間帯で重ならないようにして、展示物の見学が行われました。今年の展示物は、13団体から30種以上にのぼり、1階のホールからはじまり、木工室、被服室、美術室などの特別教室、さらに廊下、階段も使って、全3000点以上の展示物が並ぶ様子はどれも美しく工夫され、見るものを圧倒するほどの迫力にあふれていました。今年生徒会本部から出品された「南二美術館」は、南千住にまつわる妖怪を絵で表現した妖怪絵巻や南千住の街の史跡や名所を一枚の絵にまとめ階段1段ずつの幅に切って張ったもの。そして全校生徒の写真一枚一枚を「槇の野のおじ」の大きな一枚の画像に加工したものなどの力作が揃いました。伝説探究部からは、今年リニューアルされ3代目となる「亀の間の大亀」の大御輿、2学年からは、「下田・職業調べ新聞、調べる学習コンクール」、3学年からは、「漆器の加飾」さらに、教科からも社会科、美術科、家庭科から多くの作品が出品されました。

また、部活動からは、フラワーアレンジメント部、パソコン部、美術部、レスキュー部、特別展示として伊藤副校長先生による「尾久初空襲」の写真や資料、JRC100周年の歩みなどが展示されました。

学年ごとに行われた見学は、立ち止まって作品を手にしたたり、友だちと作品について話し合ったり、ビデオやゲーム作品の前で鑑賞や体験するなど、それぞれが思い思いに展示作品を楽しんでいる様子が見られました。限られた時間の中で、全員が力を合わせて完成した作品の数々はどれも素晴らしいものでした。



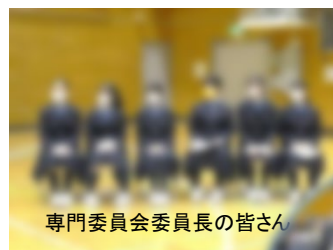
国語科意見発表



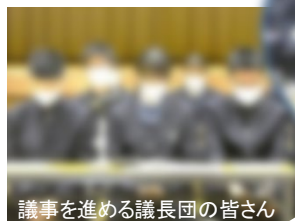
英語科スピーチ

## 第35期生徒総会

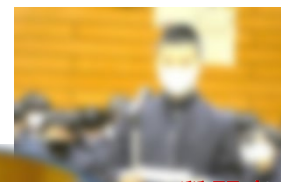
後期生徒総会が11月14日(月)5・6校時に、今年はアリーナで行われる生徒総会をGooglemeetを使い各クラスに配信して行われました。霜月祭もあり、先駆けること1か月前の10月14日(金)には、生徒会本部と各専門委員会が活動方針や具体的な活動報告などをまとめた議案書の内容について、質問や意見を交わす議案書討議が行われました。このとき上がった疑問や賛成意見、反対意見に対して学級委員や専門委員会の委員が回答をしていきました。その場で回答できなかった質問や多くのクラスから寄せられた賛成・反対意見は、その後開かれた専門委員会で十分検討され、明確な回答、実行・修正意見となって、それぞれの専門委員から報告されました。各クラスでは、改めて協議を重ねた生徒会本部、各委員会の活動方針・活動内容が報告され、全員の承認が得られました。一人ひとりの生徒が南千住第二中の一員としての自覚を持ち、より良い学校生活をつくっていくための活動に参加しているという意識を持つ大きな機会となりました。



専門委員会委員長の皆さん



議事を進める議長団の皆さん



質問者v.s.専門委員会委員長  
真剣な意見交換が続きます。



質問者の皆さん

## 環境委員会 落ち葉掃き

毎年生徒会環境委員会では委員会活動の一つとして、早朝の落ち葉掃きを行っています。今年は、期末考査を挟んで前後の4週間にわたって、生徒の登下校や近隣の生活道路として利用されている緑道や落葉樹に囲まれた運動場周辺を中心に清掃を行いました。

緑道から通学する生徒たちや近隣の皆さんと「おはようございます」と朝のあいさつを交わしながら一生懸命掃除をして、きれいになった校舎周辺や道路を見ると清々しい気持ちになります。1,2年生のテスト期間には、テストが先に終わった3年生が1週間以上毎日落ち葉掃きに取り組んでくれました。この間に集まった落葉の量は90Lのゴミ袋10個以上にも上りました。

環境委員会ではその他にも雨の日以外の毎日、玄関周りの鉢植えや植栽への水やりを当番制で行っています。また、週末には黒板消しクリーナーの清掃のあと、水道まわりの掃除を丁寧に行っています。環境委員会の皆さん、そして毎日朝早くから校舎内外の清掃をしてくださる主事さん方ありがとうございます。



落ち葉掃き



毎日の水やり



3年生の皆さん



水道まわりの掃除